

# 「愛・地球博」イベントに岐阜県笠原町笠原中学校の生徒が出演!

## 笠原の森の樹林整備活動について発表



8月22日(月)「モリゾー・キッコロメッセ」にて、笠原中学校の生徒が「笠原の森」の樹林整備について発表します!

笠原中学校では平成12年度から、「総合的な学習の時間」を利用して学校近くの「笠原の森」の樹林整備を行ってきました。生徒たちは「自分たちが親になったときに、子供の手を引いて歩けるような憩いの森にしたい」という思いで、意欲的にふるさとの森づくりに取り組んでいます。イベントでは、活動を通じて学んだ森の大切さ、樹林整備の意義を生徒たち自らが語ってくれます。



### 「笠原の森」は、どこにあるの?

「笠原の森」は、岐阜県土岐郡笠原町にあり、万博会場のある瀬戸市と境を接しています。笠原町を含む東濃地域は瀬戸の「瀬戸焼」に対して「美濃焼」で知られる窯業地帯で、笠原町は特にタイルの生産が盛んなことで有名です。(下図の印)



### 「笠原の森」って、どんな森?

瀬戸から東濃にかけての丘陵は、焼物用の粘土の採掘や、暮らしの燃料として樹木を過剰に伐採したことなどが原因で、明治の初めごろには**禿山の状態**になっていました。その結果、土砂災害が頻発するようになったため、**砂防事業によって植生を回復し**、災害を防いできた歴史があります。(写真左) しかしながら長い間人の手が入らなくなり、木が密に生えて暗く、枯れた木のある**「荒れた森」**となっています(写真中・右)。

このような森では、**大雨のときに、土砂崩れが起きる危険性が高くなります**。また、森の中は暗く、近よりがたくなっています。安全・安心で、自然豊かな親しみやすい森にするには、**森を整備し、守っていく必要があります**。



密に生えている木



枯れた木

森の整備は、庄内川下流にとっても大切です。だから下流域の人々にぜひ見て欲しい!

下流域の人々は、上流域で水源地がどのように守られているか、土砂災害を防ぐためにどのような努力がされているか、あまり知る機会はないかも知れません。**上流の人たちの水源地を守る努力がなされているからこそ、下流の安全は守られているのです**。そうした意味から、今回のイベントは、**庄内川下流域の住民のみならずにもぜひ見ていただきたい**と考えています。そしてできれば、笠原の森づくりに、実際に参加してみたいと思います。



洪水により、川が氾濫!



氾濫しにくい!

作成者・お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局  
多治見砂防国道事務所

〒507-0804 岐阜県多治見市坂上町 6-34

TEL : (0572)25-8024

<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>